

平成29年度事業報告

1 概要

わが国の65才以上の人口は、3,514万人（平成29年10月時点）と、総人口に占める割合は27.7%と過去最高の数値になり、平成52年（2040年）には35.3%になると見込まれています。

少子高齢化が進展し、高齢者人口が増加する中で、就業を希望する高齢者に就業機会を提供することで高齢者自身の健康や生きがいを高めるとともに、現役世代の下支えや人手不足分野での労働力確保に貢献する宇部市シルバー人材センターに対する地域社会の期待は一層大きくなっています。

しかしながら、会員数は雇用延長などにより減少傾向が続き、民間企業からの受注額が大きく減少するなど、センターを取り巻く環境は、ますます厳しい状況となっています。

このような中、「第二次中期基本計画」及び「平成29年度事業計画」に基づき、地域に根ざした自主的・効果的事業運営を求められることから、様々な工夫を凝らしながらセンターの運営を行ってまいりました。

会員数につきましては、1,252人となり、前年度に比べ2.6%の減になりました。

事業実績では、請負・委任事業は一般企業からの受注量が大きく減少したことから、前年度に比べ約2,791千円の減額となりました。

なお、派遣事業は約788千円の増額となりました。

請負・委任事業と派遣事業の合算契約金額は558,582,940円となり、前年度に比べ約0.4%の減少となりました。

次に、安全就業については、傷害事故は、前年度と同数の4件、また、賠償事故は2件減少し、7件発生しています。

安全就業はシルバー人材センター事業の基本であり、全会員が「**安全はすべてに優先する**」を強く自覚し、今まで以上に、会員と安全衛生委員会、安全就業推進員が一体となって、傷害及び賠償事故撲滅を目指し、より一層積極的に取り組む必要があります。

2 事務事業の実施状況

(1) 会員の動向

平成 29 年度末の会員数は、前年度に比べ 34 人減の 1,252 人になりました。

この内訳は、182 人の方が新たに入会されましたが、一方、諸般の事情から退会を余儀なくされた方が 216 人となっています。

年金支給年齢の繰り延べによる雇用延長等により、入会者は減少傾向が続いていますが、会員の紹介により 47 人の入会者がありました。

また、会員の増強対策として、宇部まつり・菖蒲まつりなどのイベント会場や商業施設等で街頭キャンペーンを行って参りましたが、新たに宇部日報紙面への会員募集広告の掲載や入会説明会の回数を増やすなどの取り組みを始めました。

今後もより一層の努力を重ね、一人でも多くの方が入会され、就業の場を通じて地域社会への貢献と、自らの健康づくりや生きがいの充実を求めていると考えています。

(2) 事業実績

平成 29 年度の請負・委託事業での受注件数は 5,674 件、契約金額は前年度に比べ約 0.5%減の 534,806,714 円となりました。また、派遣事業での受注件数は 26 件、契約金額は前年度に比べ約 3.4%増の 23,776,226 円となりました。

請負・委託事業と派遣事業を合わせた受注件数は 5,700 件、契約金額は 558,582,940 円、就業実人員は 1,061 人、就業延べ人員は 107,953 人となり、就業率につきましては前年度より 6.0%上昇の 84.7%となりました。

契約金額につきましては、民間企業からの受注が減少傾向にあることから依然厳しい状況でした。

なお、会員の紹介により 26 件の新規就業獲得がありました。

(3) 普及啓発活動

地域社会に広くご理解とご支援を得るため、会員による就業先での就業開拓やイベント会場でのチラシ配布など普及啓発に努めました。

また、地域班によるボランティア活動にも 169 人の会員が参加し、普及啓発活動に努めました。

今後も更なる会員の増強と就業機会の拡大を図るため、会員の口コミによる入会勧誘や就業先での業務紹介など、会員、役員、職員が積極的な普及啓発活動を推進する必要があります。

(4) 安全就業の確保

傷害事故の発生件数は昨年度と同数の4件発生しています。発生状況は就業中が4件となっています。

就業途上での事故は発生していませんが、市内でも高齢者の交通事故が多発している現状を踏まえ、就業途上の交通事故防止を図るため「会員のつどい」において宇部警察署による交通安全講習を開催し、交通安全意識の高揚に取り組みました。

また、賠償事故は昨年比2件減少し、7件発生しています。

毎月、安全衛生委員会による就業先への安全パトロールを実施しているところですが、会員一人ひとりが細心の注意と自覚をもって、作業の安全第一を心がける必要があります。

なお、傷害事故、賠償事故の当事者を対象に「会員安全研修会」を実施し、安全就業について再教育を図り、事故の再発防止に努めました。

(5) 会員組織活動の状況

センター事業の運営に多くの会員の意見や要望を反映させるため、自主的運営のもとに地域班が整備されており、各地域において運営全般にわたる意見交換や班員相互の交流を図る会議が、多数の会員参加のもと全12地域で開催されました。

また、職群班は技術向上と班員相互の親睦を図るため、会議や講習会が開催されています。

なお、会員の資質向上を目的に、講師を招いて「マナーアップ講習会」も開催しました。

(6) 会員の福利厚生

「会員のつどい」では、「健康」をテーマに、「毎日いきいきと過ごすために～健康生活のコツ～」と題した講話や、「最近の交通情勢について」と題して高齢者の交通安全についての講話、演芸大会、お楽しみ抽選会を行いました。

演芸大会では演芸同好会の皆さんの演技や会員によるカラオケの熱唱など、会員相互の親睦が図られました。